

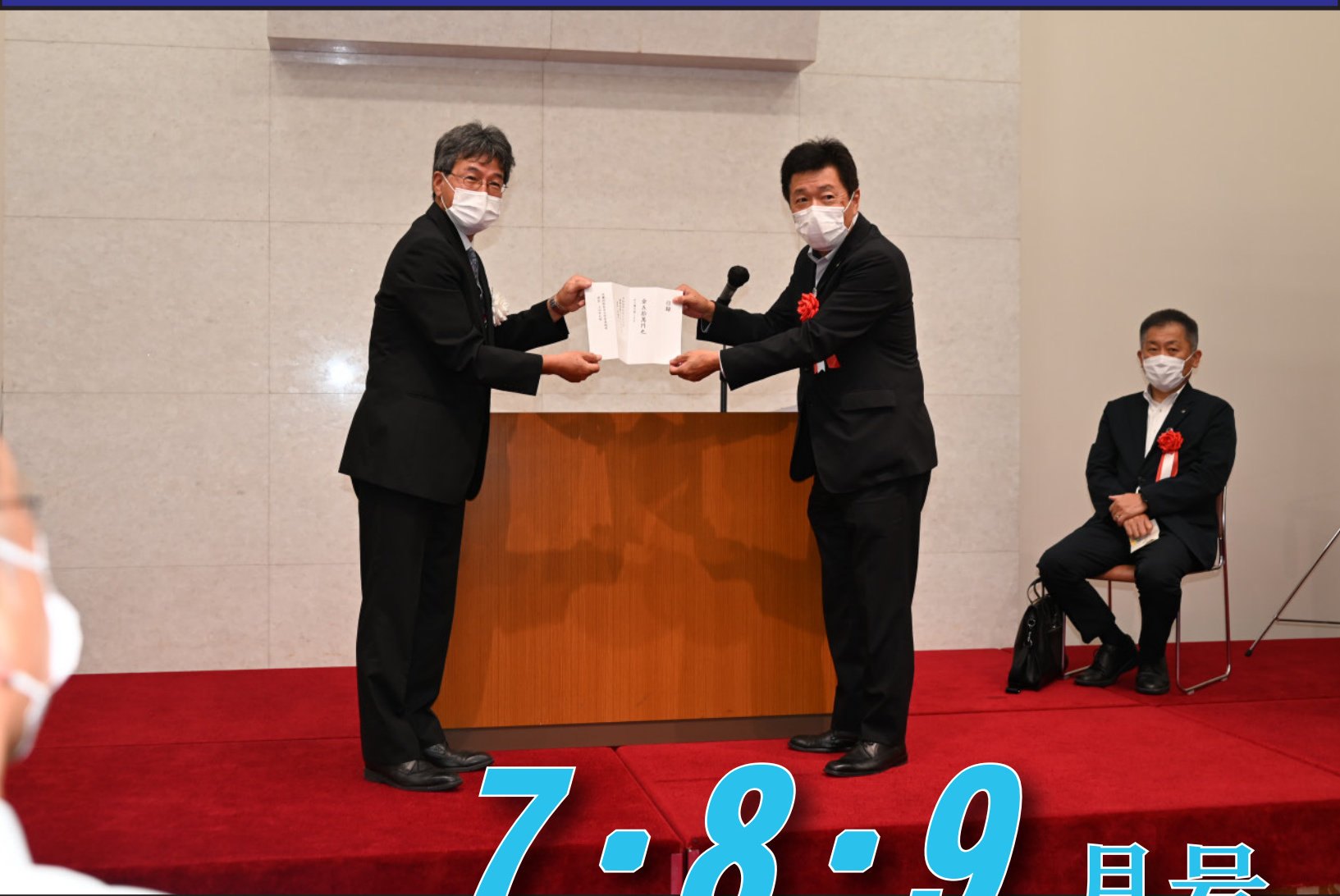
2022 年度 [2022.7 ~ 2023.6]



ライオンズクラブ国際協会 334-A 地区 4R1Z

合同会報

岡崎 岡崎南 幸田 岡崎葵 岡崎竜城 岡崎フォレスト



7・8・9 月号

写真

岡崎竜城ライオンズクラブ

おかざきッズ プログラミングフェスタ 2022



334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

1 / 6

2022年度 334-A 地区 4R1Z ゾーン・チェアパーソン(ZC)



2022 年度 334-A 地区 4R1Z
ゾーン・チェアパーソン
L.大河原 信夫
(岡崎南ライオンズクラブ)

ライオンズは奉仕活動を目的とした団体で、2022～2023 年度の国際会長 L.ブライアン E. シーハンは、単純で当たり前で、でも確かなこと「皆でやればできる。」を掲げていらっしゃいます。

そして、ガバナーL.岩田 有司は方針で、地区 各クラブの自主性を重んじ、334-A 地区スローガン「幸せの分かち合いで We serve」、ガバナーキーワード「夢を語ろう！」、そしてメンバーが「幸せ」を感じる奉仕活動です。それを実施するには会員増強「正会員の純増を果たすこと」と新クラブの結成です。この方針の中から本年も会員増強については、各クラブにお任せすることとクラブ会長がセミナーで出された会員増強目標（岡崎 3 増 3 減、岡崎南 10 増 3 減と支部、岡崎龍城 3 増 2 減、岡崎葵 2 増 0 減、額田 3 増 0 減、幸田 不明）そして退会者を出さない会員純増です。この目標をゾーンチェアパーソンとしてサポートしていきたいと思います。

また、「地区内での奉仕活動の情報共有を深めていく」も目標となっています。できれば地区内での合同例会や合同奉仕活動の実施も皆さんで考えて頂きたいと思います。奉仕活動の情報提供をお願いし、奉仕活動を共有していきたいと思します。よろしくお願いします。

LCIF については、334-A で 目標額「\$ 1,100,000」とし、各クラブについては従来通り \$ 1000 献金をメンバーの 20%の方に、また LCIF に関わるメンバーを増やすことを目的とし \$ 100 献金をメンバーの 60%のお願いがありました。

また LCIF 交付金も従来のマッチング交付金もありますが、15%相当額を交付金として活用できる申請も安易なクラブシェアリング交付金（各クラブで年度毎に災害援助指定寄付を除く寄付金総額が一定の基準、地区：1 万ドル、クラブ：5 千ドルを満たした 場合の LCIF 交付金制度）この交付金を利用する奉仕活動もお願いします。

本年度も、コロナ蔓延防止対策によりライオンズクラブの活動もいろいろな制限がある年になると思われます。ゾーンチェアパーソンとして、ゾーン内の各クラブ活動をキャビネットと連系しサポートしていきます。よろしくお願いします。

※ 挨拶は 2022 年 7 月時点の物です。

◆ゾーン・チェアパーソンとは

ライオンズクラブはエリア毎に数字とアルファベットで番号が振られ所属エリアが明確化されています。岡崎エリアは 334-A・4R1Z となっています。330 番台は主に日本を指し、334-A 地区は愛知県、その中の 4R(4 リジョン)は主に岡崎市と幸田町と豊田市になります。1Z(1 ゾーン)は岡崎市と幸田町、つまり 334-A・4R1Z は日本の愛知県岡崎市または幸田町エリアとなります。

ゾーン・チェアパーソンはそのゾーン毎に存在をし、ゾーンのライオンズクラブの取り纏めをする役職です。主な仕事は、地区とゾーン内のライオンズクラブとの繋ぎ役となります。



334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

2 / 6

岡崎市長表敬訪問

日時 2022年7月4日(月)

場所 岡崎市役所



L.大河原 ZC



ZC による挨拶



中根 岡崎市長の挨拶

市長への表敬訪問は毎年7月頭前後に行われている行事です。ライオンズクラブは活動する地域の自治体と奉仕事業で連携することが多く、毎年活動への理解や協力を求めてこの様な機会を設けます。

出席者は大河原 ZCとそのサポート役2名、また各クラブから会長と幹事。例年であればそこに第一副会長が参加する場合がありますが、コロナ禍が長く続く中で参加人数を減らざるを得ないため、不参加となっています。





334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

3 / 6

岡崎南 LC 第 1397 回新年度発足例会・岡崎 LC 第 1507 回新年度発足例会

日時 2022 年 7 月

場所 岡崎ニューグランドホテル



岡崎南 LC 発足例会にて、大河原 ZC

岡崎 LC と岡崎南 LC は、毎年の新年度初回例会を発足例会と名付け開催しています。ゾーン・チェアパーソンはその例会に出席し祝辞を述べるが恒例となっています。

ZC 出席は恒例ですが、岡崎南 LC の発足例会は少々変化があり、334-A 地区のまとめ役である地区ガバナーが例会に参加されました。今年度の 334-A 地区のガバナーは名古屋栄ライオンズクラブの L.岩田有司です。

岡崎南 LC の発足例会では例会後に懇親会が設けられ、ガバナーとクラブメンバーが直接意見交換が出来る貴重な機会となりました。



岡崎 LC 発足例会での挨拶



334-A 地区ガバナー L.岩田有司



岡崎南 LC 発足例会



岡崎 LC 発足例会ので岡崎市長祝辞



岡崎 LC 発足例会風景



334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

4 / 6

2022 年度 地区役員訪問例会

日時 2022年7月・8月・9月

場所 岡崎ニューグランドホテル・豊富学区市民ホーム



岡崎 LC 例会にて挨拶する大河原 ZC

地区役員訪問例会は毎年度初頭に行われます。ライオンズクラブへゾーン・チェアパーソンやこの地区の代表委員が各例会を回り、今年度の地区の方針や活動を伝えて行きます。

今年度の訪問例会は新クラブ結成を重点にした ZC の挨拶が主となりました。また、額田ライオンズクラブが岡崎フォレストライオンズクラブに改名した事が当 LC の例会で紹介されました。



岡崎南 LC 地区役員訪問例会
ZC 及び地区委員



岡崎フォレスト LC 例会での挨拶



岡崎竜城 LC 地区役員訪問例会

合同会報編集委員長・四献合同委員長会議

日時 2022年7月25日

場所 岡崎ニューグランドホテル



合同委員長会議での挨拶

合同会報は本誌を指します。委員長はこの会報へ寄稿する役割を担っています。四献委員長は献血や臓器提供などの奉仕事業を受け持つ委員会の長となります。

合同編集委員長会議では今年の合同会報誌の運営の説明等がされました。また四献合同委員長会議では献血、献腎、角膜提供などの他に糖尿病予防や小児癌への支援も新たに事業が出てきており、大きな枠として保健委員会へと名称変更の話が上がりました。



334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

5 / 6



合同会報編集委員長会議



四献合同委員長会議風景



合同会報編集委員長 L.原(岡崎南 LC)

地区ガバナー公式訪問合同例会

日時 2022年9月9日(金)

場所 岡崎市図書館交流プラザ りぶら(岡崎市)



ゾーン・チェアパーソン L.大河



地区ガバナー L.岩田有司



合同例会風景

地区ガバナー公式訪問例会はその名の通り、この 334-A 地区のガバナーとの交流を行う例会です。この例会にはゾーン内の全メンバーが参加します。ガバナーは年度開始から地区の各リジョン・ゾーンの例会を巡りその年度の地区の方針やライオンズクラブの本部である国際協会の指針伝えます。

例会の後は茶話会と言われる交流会が開かれます。こちらはガバナーや ZC・地区委員、各クラブの会長幹事が参加しました。





334-A 4R 1Z 2022年度 2022年7・8・9月

ゾーン・チェアパーソン活動報告

6 / 6



茶話会風景



第 1 回ライオンズクエスト・薬物乱用防止合同委員会

日時 2022年9月29日(木)

場所 岡崎ニューグランドホテル



合同委員会での大河原 ZC

ライオンズクエストとは青少年の健やかな成長を助ける事を目的とした委員会です。元々は薬物乱用防止の事業からスタートしており、心身共に健康な成長を重視したプログラムを開発して日々の生活へ取り込んでいくという取り組みです。

今年度はゾーン内の岡崎竜城ライオンズクラブの L.平岩幸一が地区委員を務めているため、1 ゾーンでの合同会議が開催されました。

会議では、率先される薬物乱用防止の活動の情報交換が主となりました。また地区委員長で医学博士の L.竹内元一がゲストとして招かれ、現在の薬物乱用事情を話されました。



地区委員 L.平岩



委員会 会議風景



L.竹内元一による解説



2022年度 2022年7・8・9月 活動報告

334-A 4R 1Z 6クラブ合同会報誌

1 / 6



岡崎ライオンズクラブ

第 57 回岡崎市小学校特別支援学級在籍児童社会見学会

日時 2022 年 9 月 13 日 (火)

場所 東山動植物園 (名古屋市内)



市内の小学校特別支援学級の児童や先生方と一緒に社会見学を行います。貸切バスを手配して(12 台)各小学校から現地に集合してもらっています。不測の事態にも対応できるように、付添いの保護者や看護師も参加します。行き先は名古屋市東山動植物園に行きました。

児童たちは『見る・聞く・触れる』という体験を通して新しい学びを身につけ、生活を広げることができるようになります。また、見学後に思い出の絵画や日記などにも取り組んでもらい、その作品は「社会見学作品展」として毎年展示しています。作品の表彰式も行い、参加賞も用意し児童たちに喜んでもらっています。2022 年度に 57 回目を迎えた、クラブの一大アクトです。





物品を提供する、助成を行う等の一方的なものではなく、学校やバス会社等と連絡を取り合い一緒に作り上げています。参加児童数が500名に及ぶ一大行事ですが、学校の先生方も積極的に参加してくださり、とてもスムーズに進行することができています。また、社会見学を行うだけでなく、その思い出の作品を作ることでも子供たちの表現活動ができるようにしています。

特別支援学級の児童たちと一緒に社会見学を行うことで相互理解を深めることができ、ライオンズクラブとして求められている事柄を実現しやすくなります。



新聞での事業紹介





2022年度 2022年7・8・9月 活動報告

334-A 4R 1Z 6クラブ合同会報誌

3 / 6



幸田ライオンズクラブ

子ども会ソフトボール大会メダル授与

日時 2022年7月17日(日)

場所 幸田町内

幸田町内子ども会ソフトボール大会へのメダル授与。優勝・準優勝・3位の各チーム20名ずつ60個用意しました。

例年は授与式にて子どもたちに直接渡しておりましたが、コロナ感染拡大防止対策として来賓の出席は自粛となったため、事前にお渡しし大会関係者様より授与して頂きました。

※コロナ渦を考慮し写真は自粛となりました。



岡崎竜城ライオンズクラブ



おかざきッズ プログラミングフェスタ 2022

日時 2022年7月26日(火)

場所 岡崎市総合学習センター



会長 L.加藤幸一(右)による目録贈呈



開会式の記念写真



2022年度 2022年7・8・9月 活動報告

334-A 4R 1Z 6クラブ合同会報誌

4 / 6

プログラミングフェスタは市内の小中学生に対して行っている事業です。パソコンのプログラミング以外にも、タブレットのアプリケーション等を使ってプログラムを組んでロジカルな思考を身に付けたり、作成したプログラムでロボットやドローンを自動で動かす体験など、IT技術を多彩に体感できる催しです。

この事業は4回目となりますが、初回から即予約が埋まってしまって希望者全員参加が出来ないほど、大変好評を頂いております。また、本事業の主催の岡崎市小中学校現職研修委員会学習情報部の教師の方々の意識も高く、子ども達への熱心な指導にかなりの熱量を感じます。



教職員によるブースの解説

今年度会長のL.加藤幸一は、この事業を通じてライオンズクラブを知って頂く事で、将来、子ども達がライオンズクラブの活動に参加してくれ、新たな奉仕を実現してくれたら嬉しい、と語っておりました。



色々な音を使い楽曲の作成



動画編集の体験



スクラッチのプログラミング



プログラミングで飛ばすドローン





第 59 回 岡崎市 吹奏楽祭 協力事業

日時 2022 年 9 月 11 日(土)

場所 岡崎市民会館



会長 L.加藤幸一の挨拶



目録贈呈セレモニー

吹奏楽祭は岡崎市内の教師によって組織される岡崎スクールバンド協議会が主催し、毎年開催されている音楽の祭典です。岡崎竜城 LC では、この催しに資金協力をする事業を行っています。昨年と一昨年はコロナの為に中断されており 3 年ぶりの開催となりました。

吹奏楽祭は市内の小中高校の吹奏楽部が 10 分の持ち時間で入れ替わり演奏をし続ける内容です。今年は市内 33 校が参加されました。また、演奏後に次の学校に入れ替わる中で聴衆の保護者も入れ替わるので、参加延べ人数は数千人と数えきれないものとなります。

目録贈呈のセレモニーは演奏済みの学校が半分近くになる 12 時過ぎに行われました。セレモニーでは岡崎竜城 LC 会長 L. 加藤幸一の他に中根岡崎市長、安藤岡崎市教育長も参加されました。L. 加藤からの目録贈呈後に、岡崎市スクールバンド協議会会長の酒井洋一氏から感謝状が手渡されました。



酒井洋一氏へ目録贈呈



岡崎市スクールバンド協議会からの感謝状



参加会員による記念写真



第 1 回 献血 アクティビティ

日時 2022 年 9 月 24 日 (土)

場所 エルエルタウン(岡崎市内)



献血をする会長 L.加藤(奥)と幹事 L.戸松(手前)

輸血用血液は常時不足しています。ライオンズクラブはその現状の助けになる様に各地で献血へのアピールを行う事業をしています。岡崎竜城ライオンズクラブは年2回、エルエルタウンにてこの事業を行っています。

コロナ禍が起きる前は声をあげて呼び込みを行っていましたが、現在はそれが叶いません。なので、目に付く様に目立つパネルを制作し、それを会員がアピールする事で呼び込みの代わりにしました。

また会長と幹事は率先して献血を行い、献血の助けになる様に務めました。



設営準備をする会員



会員がパネルでアピール



献血受付の風景

